

状況 気象情報・避難情報など国や町の情報です。土砂災害と洪水は区別があります。

事前の確認事項などです。しっかり確認しましょう。

わが家の動きは、しっかり家族で相談して決めましょう。自分でしっかり書いてみましょう。

平時時 / 大雨の危険性 レベル1 大雨、暴風、波浪警報など「警報級の可能性」があるときに発表されます。災害情報はこの確認を！

- 自宅周辺の災害リスクを確認
 - 土砂災害(特別)警戒区域
 - 洪水浸水想定区域
- 住んでいる場所の浸水深は？ () m
- 避難場所は？ ()
- 自主避難を考える

- テレビ・ラジオ、インターネット等による気象情報(特に住居地区)の確認
- 家のまわりの安全対策
- 非常持ち出し品の確認
- ハザードマップ、避難所、避難ルートの確認
- 携帯電話・スマートフォンの早めの充電

大雨のおそれ / 重大災害の兆候 レベル2 大雨注意報(土砂災害) 洪水注意情報(氾濫水位) ハザードマップで確認し記入しておく 避難に備えて避難準備を！

- 非常持ち出し品を確認
- 避難する際、家族に支援が必要な人はいるか (□はい □いいえ)
- 避難するときに支援してくれる人の名前と連絡先を記入する (名前:) (連絡先:)

- 【事前タイミング】
 - 土砂災害警戒情報が発表された
- 松田町の防災情報を確認
- 子どもと犬がいるので秦野市の祖父母の家に避難する(車で20分)
- ガソリンを満タンに

避難開始時期 / 災害発生のおそれ レベル3 大雨警報(土砂災害) 氾濫警戒情報/洪水警報(避難判断水位) が気象庁から発表されます。警戒レベルや避難情報の意味を理解しておく 避難に時間を要する人には行動を！危険な場所から高齢者などは退避してください。

- 避難所の開設状況を確認
- 避難するときに声をかける人が近所にいる (□はい □いいえ) (名前:)
- 避難経路を再確認
- 避難に要する時間は？ (徒歩:)分

- 親戚や友達や自治会に避難先を連絡する
- 近所の方に声をかける (名前:丸山花子80歳女性) (名前:川辺雄二85歳男性)
- 戸締りをして避難

災害発生の高まり レベル4 土砂災害警戒情報 氾濫危険情報(氾濫危険水位) が気象庁から発表されます。「避難指示」が町から発令されます。速やかに安全な場所へ避難！危険な場所から全員退避

- 全員避難開始 (避難先:)
- 避難するときに声をかける人が近所にいる (□はい □いいえ) (名前:)
- 避難場所へ避難できない場合の近隣の安全な場所は？ (□ある: □ない)

- 【臨時タイミング】
 - 濁った水がながれてくる
- すぐに避難する
- 寄小学校への避難完了
- 外に出るのが危険なときは家の中で安全な場所(がけから離れた2階の部屋)に移動する

災害発生 レベル5 大雨特別警報(土砂災害) 氾濫発生情報 大雨特別警報(浸水害) が気象庁から発表されます。すでに安全な避難はできず、命が危険な状況です。レベル5を待たずに、レベル4までに必ず避難しましょう！

- 自分で命を守る行動をとる(逃げ遅れた場合は、近くの建物や自宅の2階などより安全な場所に避難し、救助を待つ)
- (注)自宅が3m以上の浸水のおそれがある地域や堤防の近く、土石流の直撃を受ける危険が区域にある人は、早めの「立ち退き避難」が原則です

- 自宅内の浸水が想定されない2階などで身の安全を確保し、救助を待つ
- テレビ・ラジオ、インターネットなどで情報を収集する
- 再び親戚などに連絡する

自分または家族で話し合い、実際に行える行動を記入します、まずはとんとん書いてみましょう

避難が完了した後も、今後の気象情報等に注意しながら、行動することや確認することを記入しておきましょう